

2007

名城大学環境ガイド

〔環境報告書〕

グリーンキャンパスの創造に向けて



名城大学

Meijo University

環境方針カード付

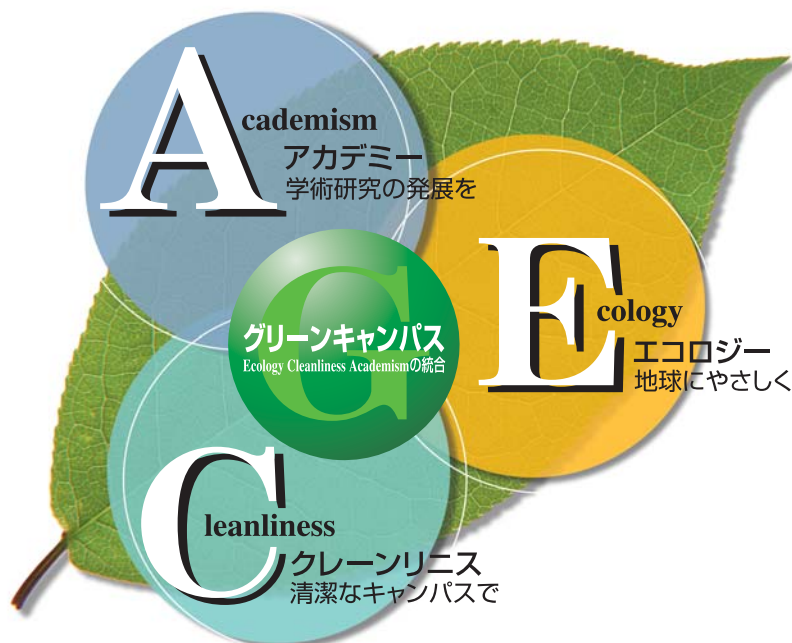
グリーンキャンパスの 創造に向けて

名城大学は、地域のみならず
我が国における教育研究のリーダーとして
「環境の21世紀」にふさわしい
環境を創造するために、持続的に発展可能な
循環型社会と文化の構築に寄与し、
教育研究をはじめとする全ての
活動において、「環境」に配慮した
キャンパス運営に挑戦しています。



index

| | |
|--------------------------|----|
| 名城大学の環境マネジメントシステム(EMS) | 2 |
| 環境方針 | 2 |
| 名城大学環境マネジメントシステム組織図 | 3 |
| 取り組み目的・目標および行動 | 3 |
| 2005年度 環境マネジメントシステムの活動状況 | 4 |
| 廃棄物の分別 | 5 |
| キャンパス内での廃棄物処理 | 5 |
| キャンパス外(自宅、地域)での廃棄物処理 | 7 |
| 環境報告書 | 9 |
| 1.省エネルギー | 9 |
| 2.省資源 | 9 |
| 3.廃棄物排出量 | 10 |
| 4.地球温暖化 | 10 |
| 5.PRTR対象化学物質 | 10 |
| 平成18年度アンケート調査結果 | 11 |



環境マネジメントシステム(EMS)

2002年6月にISO14001を認証取得し、環境に配慮した教育、研究、経営に向け、その第一歩を踏み出しました。

ISO14001とは、国際標準化機構(ISO International Organization for Standardization)が1992年の地球サミットの取り組みに関連し、環境に関する国際的な枠組みを検討する必要を確認し、1996年に発行した環境マネジメントシステム(EMS)に関する国際規格です。

ISO14001は継続的に実施・改善するPlan(計画) Do(実施) Check(点検) Action(見直し)のシステムです。

環境方針

名城大学の環境マネジメントシステムの対象範囲は天白、八事、可児の各キャンパスに附属農場、附属高等学校、日進グラウンドを加えた全キャンパスになります。

名城大学環境方針

● 環境理念

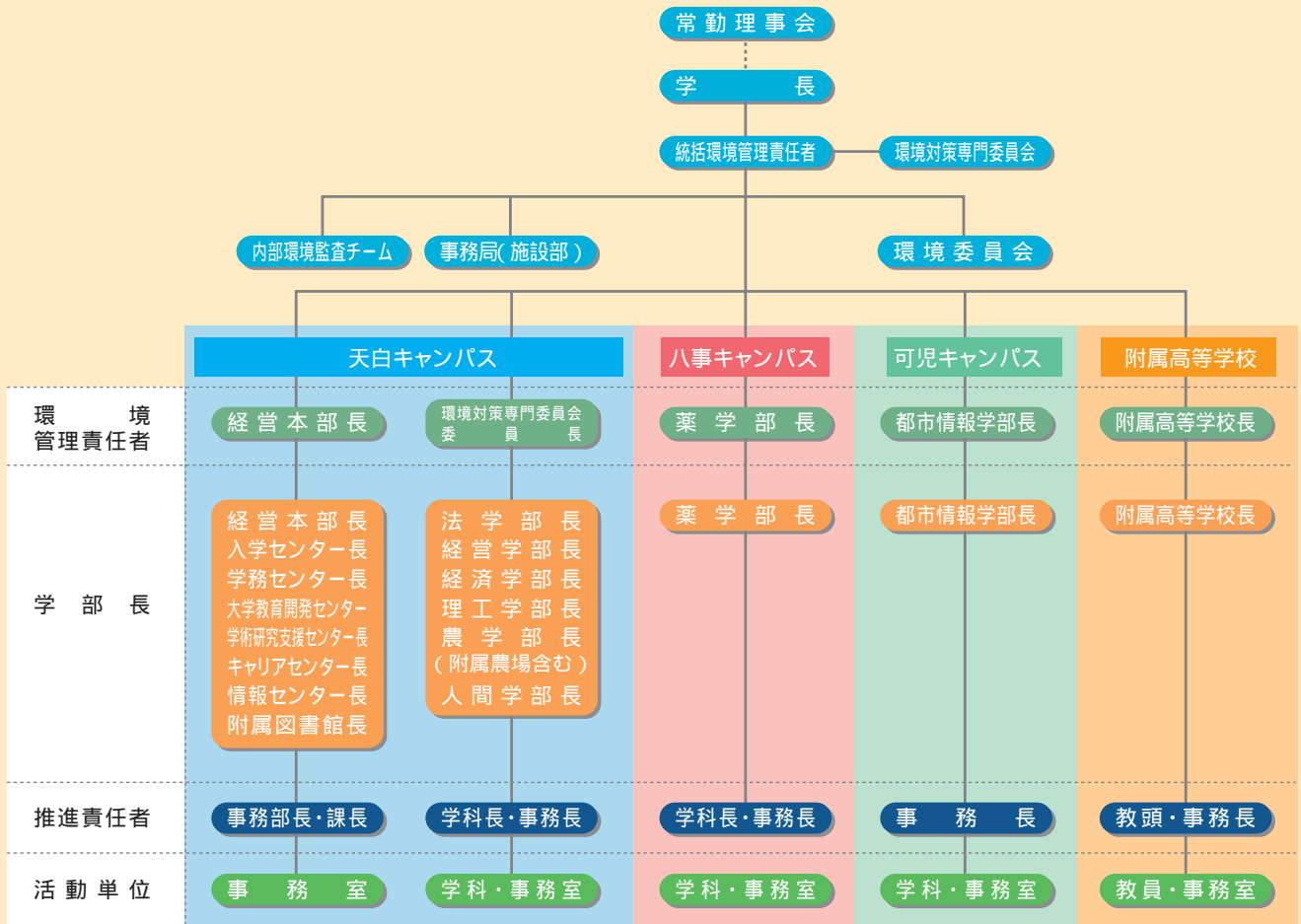
名城大学及び名城大学附属高等学校は、情報化、高度化、国際化する社会の要請と、「環境の21世紀」に込められる教育研究を推進し、持続的に発展可能な循環型社会の形成に寄与する人材の育成に努めます。

● 環境方針

- ① 地球環境の保全と維持向上に係る教育研究活動を充実し、環境を視野に入れた人材を育成します。
- ② 環境に係る公開講座などの開催や研究成果の公開を推進し、環境保全に貢献します。
- ③ 省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理に努め、環境負荷の低減に取り組みます。
- ④ 教育研究をはじめ、総ての活動において、環境関連法規制、協定等を遵守し、汚染の予防に努めます。
- ⑤ 内部環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- ⑥ 環境方針を達成するため、環境目的、目標を設定し、定期的に見直します。
- ⑦ 環境方針は、インターネットホームページで公開します。

平成19年4月1日
名城大学学長 下山 宏

名城大学環境マネジメントシステム 組織図



環境方針の具体的な行動

環境方針を具体化するための目的及び皆さんが実施する行動が次の事項です。皆さんに配布した「環境方針カード」の裏面に、「皆さんが実施する行動」の欄から3つ選択し、記入して下さい。

| 目的 | 皆さんが実施する具体的な行動 |
|----------------|--|
| 節電 | 冷暖房の効き過ぎに注意 使用しない時の、教室・研究室・トイレの消灯 使用しない時の、パソコンのスイッチOFF |
| 節水 | 実験や手洗いの時、水のムダ使いに注意 |
| コピー用紙 使用量削減 | 裏面コピーの利用 両面コピーの推進 |
| 廃棄物の削減 | 分別の徹底 紙ごみのリサイクル推進 持ち込みごみの持ち帰り徹底 |
| 喫煙場所 | 喫煙は灰皿の設置された場所で |

この中から記入して下さい。

環境方針カード

※ 注意
本環境方針の周知を自らの責任として各部署の所属する職員が実施する。以下の行動を実践しなさい！

① _____

② _____

③ _____

所属 _____

氏名 _____

【問い合わせ先】
名城大学 天白キャンパス 総務課
E-mail: kokankyo@comtech.mie-u.ac.jp
〒514-8507 三好1-1-1 内務部 総務課 2001
(本職員の所属部署は異なります。)

http://www.mie-u.ac.jp/kankyo/

自己の環境方針を環境方針カードに記入して、学生証とともに常に携帯してネ!

2005年度 環境マネジメントシステムの活動結果

| 目的 | 目標 | 目標値 | 活動状況 |
|------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--|
| 環境に係わる教育活動の推進 | 環境関連科目の継続的開講 | 開講率100% | 開講要覧や時間割に従って実施し、100%開講しました。 |
| | 環境関連教育の充実 ^{*1)} | 充実度50% | 充実度は43~100%でした。新入生のオリエンテーションで環境教育を実施した学部もありました。 |
| | 環境科目の定期試験受験率の向上 ^{*2)} | 受験率70% | 受験率は88~100%であり、毎年目標値を維持しています。 |
| | 環境意識調査の実施 | 実施率50% | 実施率は50~100%でした。学生の54%が環境意識と行動に変化があったと評価しています。 |
| | 実験科目での環境保全指導の徹底 | 実施率100% | 理系学部は実験手引書を作成し、実験廃液の処理等の教育を100%実施しました。 |
| | 環境行事への支援 | 4回/年以上 | 学生会と協同して、キャンパスクリーン活動を天白は11回、八事は2回、可児は1回、附属高校は23回実施しました。 |
| | 大学祭での廃棄物処理の指導 | 1回/年以上 | 各キャンパスで、大学祭でのゴミの分別の指導や助言を1回/年以上実施しました。 |
| | 環境フォーラムの開催 | 1回/年以上 | 今年度は都合により未実施でした。2006年度は6月に実施することが決定しています。 |
| 環境に係わる研究活動の推進及び研究成果の公開 | 公開講演会の積極的開催 | 10回/年以上 | 学術支援が3回、経営・経済が1回、理工が4回、農が1回、都市情報が2回の計11回開催しました。 |
| | 学外公開講座、出前講義の講師派遣の記録 | 100%記録 | 人間が2名、理工が2名、農が15名、都市情報が34名、計53名の講師を派遣しました。 |
| 省資源の推進 | コピー用紙購入量の削減 | 5%削減 | 天白1%増、八事16%増、可児28%減、高校11%減であり、可児と高校が目標を達成しました。両面・裏面活用は定着しつつあります。 |
| | 水使用量の削減 | 市水：5%削減 井水：維持 | 実験冷却水の循環使用を推進したことにより、天白は市水8%減、井水4%減、八事は市水6%減、可児は市水3%減、高校は市水4%減でした。 |
| | PRTR対象化学物質使用量の削減 | 1%削減 | 全学の使用量の合計は7%減少しました。特に薬学部は17%減少しました。 |
| 省エネルギーの推進 | 電気使用量の削減 | 天白：維持 他：2~3%削減 | 天白8%増、八事1%減、可児1%増、高校3%減でした。厳冬の影響を受け、全キャンパスで目標未達成でした。 |
| | ガス(LNG LPG)使用量の削減 | 天白：3%削減 八事：30%削減 他：5%削減 | 天白45%増、八事24%減、可児12%増、高校2%増でした。天白はガスボイラーを優先的に使用したことにより大幅に増加しました。 |
| | 重油・灯油使用量の削減 | 天白：10%削減 八事：5%削減 高校：維持 | 天白は重油19%減、八事は重油1%減・灯油28%増、高校は重油3%増・灯油93%減でした。 |
| グリーン購入の推進 | 印刷業者に古紙配合率100%の用紙を使用するように指示 | 実施率100% | 印刷業者に古紙配合率100%用紙の使用指示は99~100%でした。 |
| 一般廃棄物の適正管理 | 廃棄量の削減 | 3%削減 | 天白は12%増、八事は1%減、可児は1%増、高校は6%減でした。 |
| 産業廃棄物の適正管理 | 廃棄物管理マニュアル、環境ガイドの定期見直し | 1回/年 | 各学部の管理マニュアルはマニフェスト関係や薬品処理関係を見直し、改訂版を発行しました。環境ガイド [®] はアンケート調査結果を掲載しました。 |
| | 保有薬品リストの作成 | 作成率80% | 理系の各学部では保有薬品のリストをほぼ100%作成しました。 |

*1)環境内容を含んだ講義時間数/全講義時間数 *2)受験者数/履修者数



廃棄物の分別

クリーンなキャンパスを自分達の手でつくろう!! そして廃棄物“^{ゼロ}0”化を目指します。

キャンパス内での廃棄物

1 廃棄物の分別方法

天白・八事キャンパス

燃やせる物

生ゴミ、木屑、ティッシュ、紙製のトレイ、写真、紙等



燃やせない物

ビニール類、ゴム製品、ガラス、カップ麺容器、プラスチック製容器、フロッピーディスク、ボールペン、ストロー、ペットボトルのキャップ、菓子類包装袋、コンビニの袋



ペットボトル

プラスチック識別マークが下記のように♻️のものに限定。(キャップをとり、中身を洗浄し、つぶす。)



ビン・缶

飲料用ビン・缶類(キャップをとり、中身を洗浄) スプレー缶(穴をあける)
薬品ビンは絶対に入れないでください。



紙専用

新聞、雑誌、コピー用紙、講義用プリント、ノート、リーフレット、パンフレット、チラシ、厚紙、封筒(窓付封筒は除く)



可見キャンパス

燃やせる物

生ゴミ、木屑、ティッシュ、紙製のトレイ、写真、感熱紙、剥離紙等、ビニール類、カップ麺容器、ストロー、ペットボトルのキャップ、プリン・インスタント食品の容器、キャンディ・菓子類の包装袋、コンビニの袋、プラスチック製の容器



燃やせない物

ガラス、陶磁器、金物類、プラスチック製の大型ボックス等



ペットボトル

プラスチック識別マークが下記のように♻️のものに限定。(キャップをとり、中身を洗浄し、つぶす。)



ビン・缶

飲料用ビン・缶類(キャップをとり、中身を洗浄) スプレー缶(穴をあける)
薬品ビンは絶対に入れないでください。



2 紙類のリサイクル

各号館ホールおよび特定個所に設置された紙専用回収ボックスに入れてください。**紙専用回収ボックスには紙以外のものは入れないでください。**

リサイクル可能な紙

レシート、新聞、雑誌、コピー用紙の他、授業中に配布されたプリント、厚紙、ハガキ、封筒(セロハン系の窓付き封筒は不可)、チラシ、リーフレット、パンフレット、ノート、紙製のフラットファイル(止め具は除く)、紙製菓子箱(平に広げる)等も可能。

リサイクル不可能な紙

写真、油紙、トレーシングペーパー、紙コップ、粘着テープのついたもの、プラスチック製のファイル、使用済みのチリ紙、クリップ、ビニール・ゼロハン系の袋、タバコの吸殻、牛乳パック(牛乳パックは洗浄し切り開いて、近くのスーパー等に持参)



3 自動販売機紙コップ

学内自動販売機設置個所にはデポジット機(紙コップ回収専用機)が設置されていますのでその中に入れて下さい。

4 産業廃棄物

実験廃液、廃棄実験器具類(ガラス・プラスチック・金属)、実験動物の屍体、注射針等の感染性廃棄物、コンクリートくず、機械系の実習で排出された金属くず、不要什器機器類、体育系クラブ団体の活動用道具等。

| | 種類と内容物 | 分別・回収 |
|----------|--|----------------------------|
| 実験、研究で排出 | 廃プラスチック類(プラスチック類、ディスク製品、ゴム製品等、滅菌したプラスチック類) | 研究室もしくは廃棄物保管庫で指定したダンボールに保管 |
| | ガラスくず(シャーレー、試験管、陶磁器類、滅菌したガラス類) | 研究室もしくは廃棄物保管庫で指定した容器に保管 |
| | 廃薬品、廃油、廃液 | 研究室もしくは廃棄物保管庫で指定した容器に保管 |
| | コンクリートくず、金属くず | 指定場所に保管 |
| | 薬品びん | 研究室にて保管 |
| クラブ団体等 | 金属物(不用な什器、OA機器等) | 各クラブ室で回収日まで保管 |
| | 運動系の用具、木製什器、プラスチック系の什器類、イス | 各クラブ室で回収日まで保管 |

研究室内での排出物は該当教員の指示、クラブ団体での排出物は学務センターの指示に従い絶対に一般の分別ボックスには入れないでください。

5 放置自転車

駐輪場は通学用のために自転車を置く場所です。決して不用な自転車を本学の駐輪場に放置しないでください。

*放置自転車には、原動機付自転車を含みます。

キャンパス外(自宅、地域)での廃棄物

名古屋市の廃棄物の出し方・分け方

資源とごみの分け方・出し方一覽表

| | | | | |
|------|-------------------|-------------------------------|--|---|
| 資源 | ステーション(地域の集積場所)収集 | プラスチック製容器包装 | | 資源用指定袋に入れて 注)プラスチック製容器包装だけで一袋にしてください。 |
| | | 紙製容器包装 | | 資源用指定袋に入れて 注)紙製容器包装だけで一袋にしてください。 |
| | | ペットボトル | | 資源用指定袋に入れて 注)ペットボトルだけで一袋にしてください。 |
| | 週1回 | 空きびん | 飲料用・食品用 フタを取ってつぶしてから | 袋へ入れずに直接、青色のかごへ 注)びんは横にして入れてください。 |
| | 曜日 | 空き缶 | 飲料用・食品用 千種、東、北、西、中村、中、守山、緑、名東、天白区 昭和、瑞穂、熱田、中川、港、南区 | 資源用指定袋に入れて 注)空き缶だけで一袋にしてください。 袋へ入れずに直接、黄色のかごへ |
| 拠点回収 | 紙パック | 飲料用に使われた内側が白いもの 開いて乾かし | 袋へ入れずに直接、スーパー・区役所などの回収ボックスへ | |
| | ペットボトル | フタを取ってつぶしてから | 袋へ入れずに直接、スーパー・コンビニ・区役所などの回収ボックスへ | |
| | | 新聞、雑誌、紙パック段ボール、衣類(夏物) | | 学区・子ども会などで取り組まれている集団資源回収や、リサイクルステーション、古紙リサイクルセンターなどを利用しましょう |

資源は、中をさっとゆすいで、それぞれの種類ごとに分けて出してください。

| | | | |
|----|--------|--|--|
| ごみ | 可燃ごみ | 台所・日用品などの燃えるごみ | 可燃ごみ用指定袋に入れて |
| | 不燃ごみ | 30cm角以下の燃えないごみ、燃やすのに適さないごみ | 不燃ごみ用指定袋に入れて |
| | スプレー缶類 | スプレー缶、カセット式ガスボンベ フタを取って完全に使い切った後、火の気のない風通しの良い所で穴をあけて | 資源用指定袋に入れて 不燃ごみの収集日に、不燃ごみと別にして(少し離して)出してください |
| | 申込制 | 粗大ごみ(有料) ※「粗大ごみ受付センター」へ収集の申込みをした後、納付券取扱店(コンビニ・スーパー等)で納付券(シール)を購入し、納付券を貼って出してください。 | 収集日の1週間前(前の週の同一曜日)までに受付センターへ電話でお申し込みください 粗大ごみ受付センター 0120-758-530 (おかけ間違いのないようにお願いします) 受付時間:午前9時~午後5時(土・日曜日、年末年始を除く) ※祝日・昼休みも受け付けています |

※地域の事情によりステーション(集積場)へ持ち出していたり、地域があります。

●エアコン、ブラウン管テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機は、「家電リサイクル法」に基づき家電小売店で引き取ります。(市は収集しません。)引越し等で購入した小売店が遠方になったり、廃業していた場合は…**家電リサイクル受付センター 482-3167**へ
今後、法令改正に伴い対象品目が追加される場合があります。
名古屋市環境局資料

可児市の廃棄物の出し方・分け方

**可児市
保存版**

ごみ・リサイクル資源の分け方・出し方

ごみ・リサイクル資源でご不明な点は…
可児市役所 環境課
(TEL62-1111)

◎もえるごみ収集日

(ご自分の地区の収集曜日に
○をつけて下さい)
毎週 **月・木曜日**
火・金曜日
水・土曜日

◎もえないごみ・粗大ごみ・リサイクル資源収集日

| 種類 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| ガラス類・ビン類・紙類 | | | | | | | | | | | | |
| 金物類・粗大ごみ | | | | | | | | | | | | |
| カン・ペットボトル資源 | | | | | | | | | | | | |
| 陶磁器類 | | | | | | | | | | | | |

(毎年度の日程表からご自分の地区のものを切り取り貼ってください。)

●ごみ・リサイクル資源は決められた収集日の朝8時までに、決められた場所に出してください。
(朝8時前に終了するリサイクルステーションもあります。)
●年末年始の収集日程については「広報かに」12月1日号でお知らせします。

Step.1 まずは、あなたが出したいごみの中から、次のリサイクルできるものは分けてリサイクルステーション等へ出しましょう。

飲料用・食品用のビン **出し方** キャップ・フタを取り、軽くゆすいでください。取れないものは、そのまま出してください。

①無色のビン
まったく色のついていないビン。 → **無色のビン**

②茶色のビン
ドリンクビンはほとんどこの色です。また、乳製品のビンにもこの色があります。 → **茶色のビン**

③その他色のビン
無色と茶色以外です。 → **その他色のビン**

④生きビン (一升ビン・ビールビン)
割れたビールビン・一升ビンは、ここには入れないでください。 → **生きビン**

飲料用・食品用のカン **出し方** 軽くゆすいで潰さずに出してください。

⑤アルミカン
→ **アルミ**

⑥スチールカン
菓子カン、のりカン、ペットフードのカンでもOK。 → **スチール**

プラスチック製容器 (次のもの以外は、もえるごみに出してください)

⑦ペットボトル
飲料用・酒・醤油のPETボトルに限る。
出し方 キャップ・キャップリング・ラベル等取れるものを取り、軽くゆすいで潰さずに出してください。 → **PET**

⑧発泡トレイ・発泡スチロール
食品用発泡トレイ・包装用発泡スチロール
出し方 ラップ・シールは取り除き軽くゆすいで潰さずに出してください。 → **発泡**

古紙類

⑨紙容器 (ダンボール・紙バック以外の紙製容器包装)
出し方 紙以外のものは取りのぞき(出来ないものはごみとして出してください。)袋には入れず、ひもで十字字にしはって出してください。 → **紙**

⑩印刷物 (新聞・雑誌等)・ダンボール・紙バック容器 (牛乳等)
出し方 紙容器としては出せませんので、地域の資源回収等に出してください。 → **紙**

家電リサイクル

⑪テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン (冷媒も対象)
出し方 許可業者に依頼する等、決められた方法で処理してください。 → **家電**

Step.2 さらに、特別ごみを分けて出しましょう。

特別ごみ (市役所・連絡所・市公民館等で収集します)

⑫乾電池
→ **乾電池**

⑬蛍光灯・体温計
白熱電球はガラスのごみで出してください。 → **蛍光灯・体温計**

Step.3 さあ、残ったごみは次のように分けて指定袋に入れて出しましょう。

⑭もえるごみ (細かいものに限る)
台所ごみ・紙くず類・布類・洗濯容器・ビニール類等
→ **可燃物集積場へ**

⑮粗大ごみ (無料シール貼付)
指定ごみ袋に入らないもので150cm×80cm×80cmまでのものは **不燃物集積場** で収集します。粗大ごみシールに住所・氏名を書いて見やすい位置に貼って出してください。 → **不燃物集積場へ**

もえないごみ

⑯指定袋制
指定の袋に入れて住所・氏名を書き、分別して該当する何れかを丸で固めて出してください。 → **不燃物集積場へ**

⑰ガラス類
飲料用・食品用ビンはリサイクル資源へ出してください。 → **不燃物集積場へ**

⑱金物類 (プラスチックの塊等もここへ)
ガス缶(カートリッジ型)は火気の無いところで必ず穴をあけて出してください。 → **不燃物集積場へ**

⑲陶磁器類
→ **不燃物集積場へ**

大森ガレキ処分場
1回の収集に20kgを超える場合は大森ガレキ処分場へ直接搬入してください。
毎月第2・4日曜日
午前9時～午後4時30分開場

Step.4 指定袋に入らないものや処理困難物は、次のようにしましょう。

⑳粗大ごみ (定形外)
(許可業者収集制、直接申し込み)
150cm×80cm×80cmを超える粗大ごみは許可業者の個別収集となります。直接下記許可業者に収集を依頼してください。(品目、量等により料金は異なります。)
株式会社橋本 TEL62-3310
小森屋株式会社 TEL54-1283

㉑粗大ごみ (有料シール貼付)
指定ごみ袋に入らないもので150cm×80cm×80cmまでのものは **不燃物集積場** で収集します。粗大ごみシールに住所・氏名を書いて見やすい位置に貼って出してください。 → **不燃物集積場へ**

㉒ささゆりクリーンパークで処理できないもの
●引火性・爆発性のあるものは収集しません。(プロパンガスボンベ、塗料、バッテリー等)
●有害廃棄物及び農薬(注射針、感染性の疑いのある廃棄物、除菌剤、消毒薬等の薬品)
●破砕処理できないもの(鉄骨、鉄板、自動車等のタイヤ、エンジン付農機具、バイク、商業用冷蔵庫、ホーロー・浴槽、土砂類、ボウリングの球、車庫用耐火金庫、ピアノ、電動自転車等)
※販売店・取扱店・専門の処理業者等に相談し、処理してください。

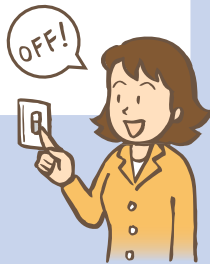
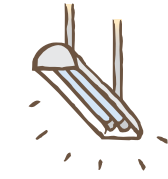
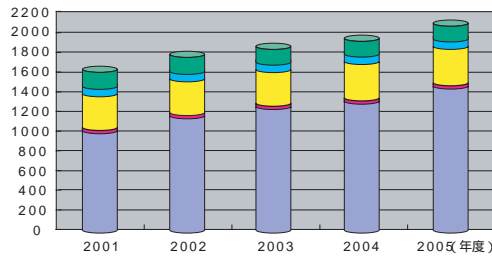


環境報告書

1 省エネルギー

1) 電気

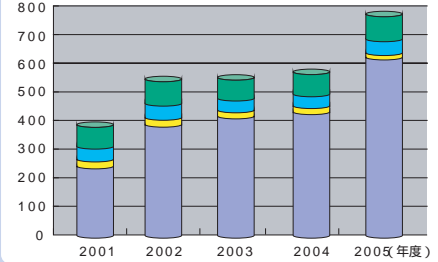
使用量(万kwh)



天白キャンパスでは新校舎の建設が続いているため、使用量の絶対値は毎年増加し、2005年度は法人全体では6%増加しました。しかし、新校舎の省エネ設計と教職員や学生の省エネ意識の向上により、校舎の単位面積当りの使用量は減少しています。

2) 都市ガス及びプロパンガスの使用量

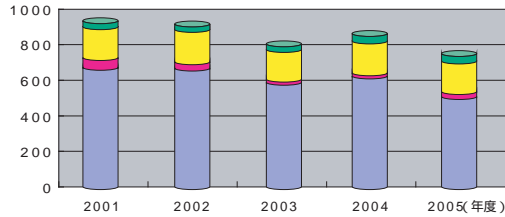
使用量(Km³)



天白キャンパスは共通講義棟北の本格的な使用や都市ガスボイラーの優先使用のため、45%増加しました。八事キャンパスは減少しましたが、天白キャンパスの増加の影響を受け、法人全体では33%増加しました。

3) 重油

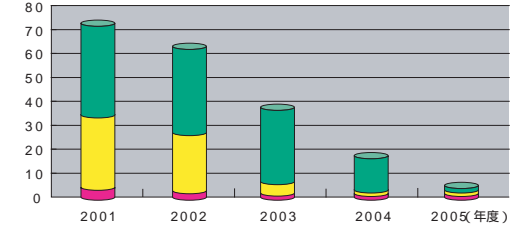
使用量(KL)



天白キャンパスで都市ガスボイラーを優先的に使用したことにより、重油の使用量は法人全体で15%減少しました。都市ガスを優先的に使用すると、硫黄酸化物とCO₂の発生量が減少しますので、大気汚染や地球温暖化の防止の効果が期待できます。

4) 灯油

使用量(KL)

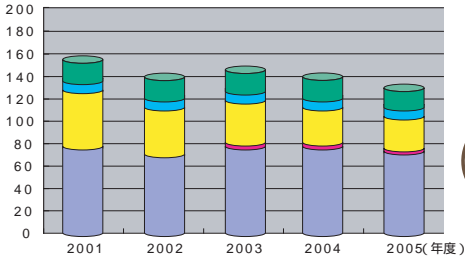


附属高等学校で灯油ボイラーを殆ど稼働しなかったことや八事キャンパスで灯油ボイラーを廃止したため、法人全体の使用量は大幅に減少しました。今後、更に重油や灯油の使用量を減らし、大気汚染や地球温暖化の防止に協力します。

2 省資源

1) 市水の使用量

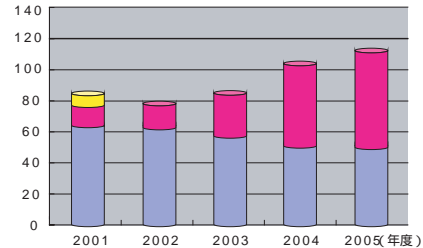
使用量(Km³)



実験用冷却水の循環使用、漏水チェック体制の確立、節水活動の推進等の効果により、毎年減少し、2005年度は8%減少しました。

2) 地下水揚水量

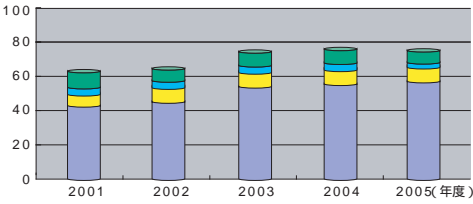
揚水量(Km³)



天白キャンパスでは漏水チェック体制の確立や砂る過設備の逆洗頻度の適正化などにより、毎年減少し、2005年度は4%減少しました。附属農場では農作物の生育のための散水が増加しています。

3)コピー用紙(PPC用紙)の購入量

購入量(ト)



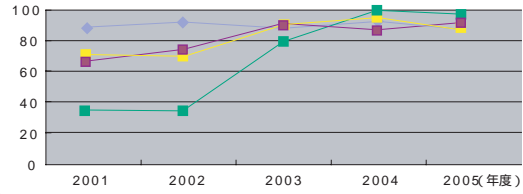
もっと節約
できるよな



可児キャンパスと付属高等学校が大幅に減少したため、法人全体として、初めてコピー用紙購入量が僅か減少しました。裏面や両面コピーの使用、電子媒体の積極的利用、会議資料数の適正配布等を今後も継続して推進していきます。

4)紙類のリサイクル

リサイクル率(%)

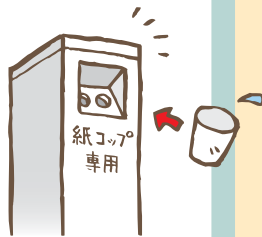
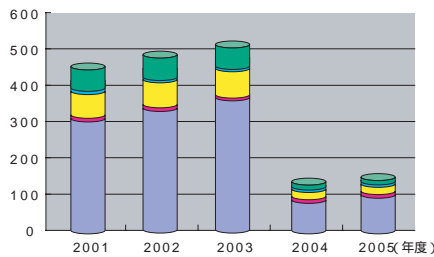


紙類のリサイクル率は90%以上をキープしています。本学では各所に「紙専用回収ボックス」を設置し、更に「環境パトロール」で燃やせるもののゴミ箱に紙類が捨てられていないことを確認しています。



3 一般廃棄物排出量

排出量(ト)



2004年度は廃棄物排出量の計量方法を変更したことにより大幅に減少しましたが、2005年度は10%増加しました。本学では廃棄物の分別容器をキャンパス内の多くの場所に設置し、更に「環境パトロール」を実施して、教職員や学生を啓蒙しています。

4 地球温暖化

CO2排出量(ト)

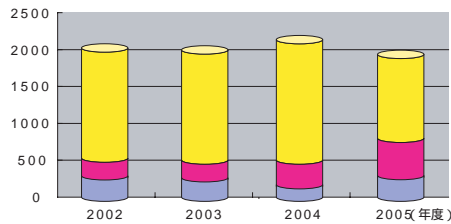


天白キャンパスでは冷暖房用に都市ガスボイラーを優先的に使用しましたが、共通講義棟北の本格稼動のためエネルギー使用量が増加し、CO2の排出量が8%増加しました。なお、同じ量のエネルギーを使用する場合、CO2の発生量は重油より都市ガスの方が少なくなります。

5 PRTR対象化学物質

使用量の推移

使用量(Kg)



使い過ぎに
注意しよう!

本学は、EMS活動の目的・目標にPRTR対象化学物質の使用量を毎年1%削減することを掲げています。天白キャンパスと付属農場での使用量が増加しましたが、大量使用の八事キャンパスが大幅に減少したため、法人全体で7%削減しました。



■ 付属高等学校 ■ 可児キャンパス ■ 八事キャンパス ■ 付属農場 ■ 天白キャンパス ■ 大学全体

【省エネ対象項目と削減目標】

| 省エネ対象項目 | 電気 | 気体燃料 | | 液体燃料 | | 市水 | 井水 | コピー用紙 | 一般廃棄物 |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------|------|-------|--------|
| | | LNG | LPG | 重油 | 灯油 | | | | |
| 2008年度の削減目標値 | 6~7%削減 | 6~8%削減 | 5~8%削減 | 7%削減 | 7%削減 | 6~14%削減 | 4%削減 | 15%削減 | 15~30% |

削減目標はキャンパスにより異なります。



平成18年度アンケート調査結果

ISO14001 認証取得による学生の環境意識および行動

ISO14001認証取得を機に、これまでに理工・農・薬の3学部で環境関連科目を受講している学生を対象にアンケート調査を行っている。平成18年度は全学部(法・経営・経済・理工・農・薬・人間)の環境関連科目を受講している学生を対象に調査を行い、8,024名から回答を得た。この調査結果に基づいて整理した。

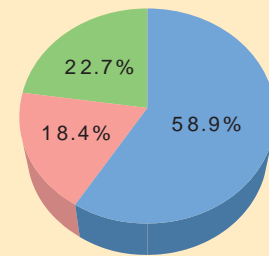
| 法学部 | 経済学部 | 経営学部 | 理工学部 | 農学部 | 薬学部 | 都市情報学部 | 人間学部 | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------|------|-------|
| 339 | 244 | 31 | 3,754 | 1,388 | 1,505 | 607 | 156 | 8,024 |

1 ISO14001の認証取得と更新

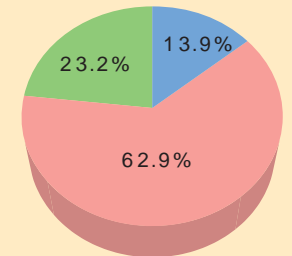
図-1は、名城大学がISO14001を認証取得していることを、知っているか否かを調べた結果である。この図から全学学生の58.9%が知っていることがわかる。

また、図-2は、平成18年:6月に認証の更新審査が行われたことを知っているか否かを調べた結果を示す。このことから、学生はISO14001認証更新を十分知らないで、十分知ってもらうためのその対策が必要である。

■ 図 1



■ 図 2



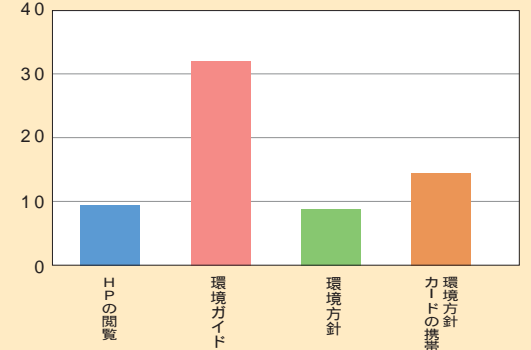
■ はい ■ いいえ ■ 無回答

2 環境意識

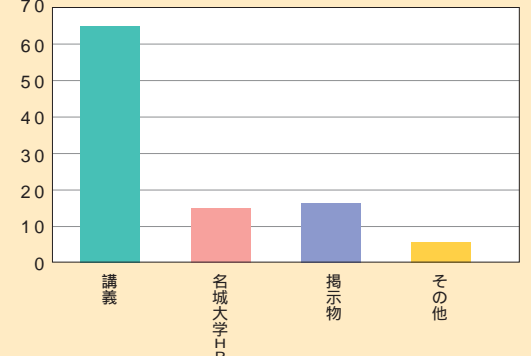
図-3は、①環境方針の周知度、②環境ガイド(冊子)内容の周知度、③HPの閲覧状況、④環境方針カードの携帯、について調べた結果である。その結果、ISO14001の大学HPの閲覧状況は9.9%、環境方針カードを携帯している学生は13.8%であった。

また、ISO14001の認証取得を何で知ったかについては、図-4から①入学時のガイダンス 35.5%②講義 33%③大学からの配布資料 28.7%の割合で学生が知ったのが多い。認証更新を知ったきっかけは講義によるもので63.7%であった。大学HP及び掲示物からは少なかった。

■ 図 3 [%]



■ 図 4 [%]

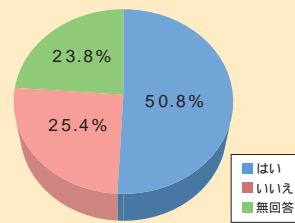


3 クリーンアップ大作戦の周知度

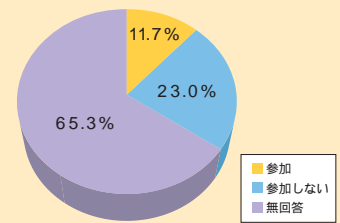
この結果を図-5に示した。この図から全学生の過半数以上の学生がクリーンアップ大作戦が行われていることを知っている。これはボランティア協議会が中心として、月2回大学周辺等の清掃活動を実施しているためである。さらに知っている学生にクリーンアップ大作戦に参加した経験の有無を調べた結果が図-6に示してある。この図より参加した学生はわずか約12%であった。

このクリーンアップ大作戦の周知度を学部ごとにまとめたものを図-7に示した。この結果、天白キャンパスでは文系学生の周知度の高いことが分かる。

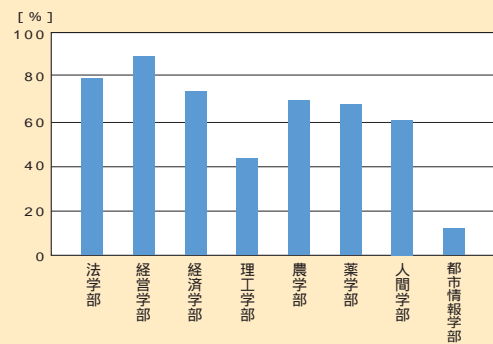
■ 図 5



■ 図 6



■ 図 7



4 大学のISO14001認証取得による学生の環境意識・行動

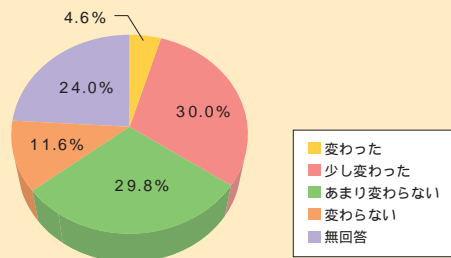
学生の環境意識・行動は、図-8に示した。この図から「変わった、少し変わった」と「あまり変わらない、変わらない」の割合は同じ程度で、ある程度の影響を与えていることがわかる。

また、図-9から①不使用の教室等の消灯、②不使用のパソコン等の電源OFF、③ゴミを教室等に放置しない、④ゴミの分別ボックスの活用、⑤紙回収ボックスの活用、⑥節水、がどの程度実行されているかどうか調べた。その内各項目で、「よく実行した」、「ある程度実行した」と答えた学生を合わせた割合の結果は「ゴミの分別ボックスの活用」、「ゴミを教室等に放置しない」で約60%の学生が実行していた。さらに、学部ごとに「かなり、よく」、「ある程度」の回答をまとめたものを図-10a~10cに示した。

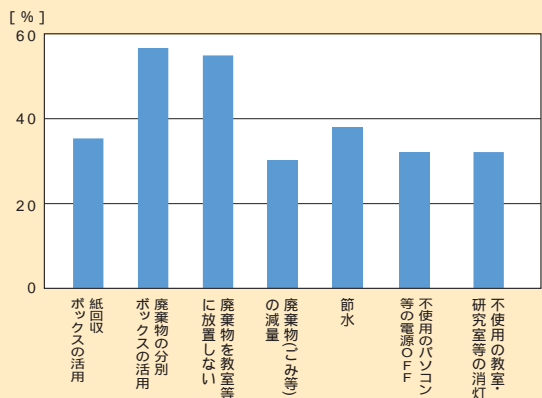
これを学部別に見てみると法学部は、「ゴミ分別ボックスの活用」、「ゴミを教室等に放置しない」と回答した学生が、約80%と非常に高くなっているが、「教室等の消灯」など他の項目の割合は32%と低くなっている。

経営学部は、「ゴミ分別ボックスの活用」、「ゴミを教室等に放置しない」と回答した学生が90%以上で非常に高い。この高い比率は、アンケート回答人数が他学部には少ないことが要因とも思われる。経済学部は、「教室等の消灯」、「ゴミを教室等に放置しない」と回答した学生が約80%と非常に高い。他の回答項目でもその割合は40%以上と他学部には高くあり、環境意識・活動の高い学生の割合が高い。

■ 図 8



■ 図 9



■ 図 10a

| | 法学部 | 経営学部 | 経済学部 |
|-----------------|-----|------|------|
| 紙回収ボックスの活用 | 47 | 68 | 56 |
| ゴミの分別ボックスの活用 | 81 | 90 | 81 |
| ゴミを教室等に放置しない | 79 | 94 | 77 |
| 廃棄物(ごみ等)の減量 | 35 | 55 | 46 |
| 節水 | 44 | 65 | 49 |
| 不使用の教室・研究室等の消灯 | 31 | 58 | 42 |
| 不使用の電気機器等の電源OFF | 32 | 52 | 41 |

理工学部は、「ゴミ分別ボックスの活用」「ゴミを教室等に放置しない」などの項目に回答した学生が約23～45%と他学部 비해 全体的に環境意識・行動の低い学生の割合が多い。

農学部は、「ゴミ分別ボックスの活用」「ゴミを教室等に放置しない」と回答した学生が約73～74%と非常に高く、他の項目の割合も44%以上であり、他学部 비해 全体的に環境意識・行動の高い学生の割合が高い。

人間学部は、「ゴミ分別ボックスの活用」「ゴミを教室等に放置しない」と回答した学生が約80%と他の項目に比べ非常に高い。

薬学部は、「ゴミ分別ボックスの活用」「ゴミを教室等に放置しない」と回答した学生が約60%となっているが、キャンパスの違いによるものか、他の項目の割合が30～40%と低くなっている。

都市情報学部は、天白キャンパスと離れた可児市にキャンパスがあるものの、「ゴミ分別ボックスの活用」「ゴミを教室等に放置しない」など全体的に40～66%と、環境意識・行動のある学生の割合が全体的に高い。

■ 図 10b (%)

| | 理工学部 | 農学部 | 薬学部 |
|-----------------|------|-----|-----|
| 紙回収ボックスの活用 | 28 | 49 | 29 |
| ゴミの分別ボックスの活用 | 45 | 74 | 59 |
| ゴミを教室等に放置しない | 42 | 73 | 61 |
| 廃棄物(ごみ等)の減量 | 23 | 44 | 34 |
| 節水 | 28 | 50 | 45 |
| 不使用の教室・研究室等の消灯 | 27 | 46 | 40 |
| 不使用の電気機器等の電源OFF | 28 | 46 | 38 |

■ 図 10c (%)

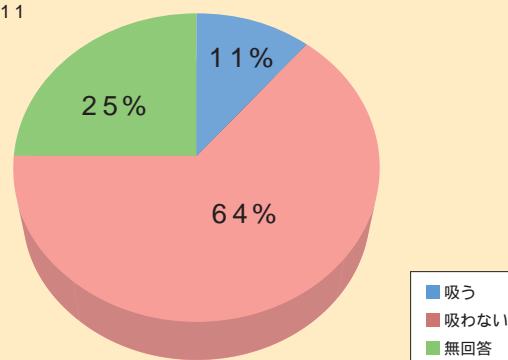
| | 人間学部 | 都市情報学部 |
|-----------------|------|--------|
| 紙回収ボックスの活用 | 52 | 45 |
| ゴミの分別ボックスの活用 | 79 | 66 |
| ゴミを教室等に放置しない | 83 | 65 |
| 廃棄物(ごみ等)の減量 | 39 | 40 |
| 節水 | 50 | 52 |
| 不使用の教室・研究室等の消灯 | 36 | 53 |
| 不使用の電気機器等の電源OFF | 41 | 51 |

5 喫煙

図 - 11 から学生の喫煙者は11%と少なく、圧倒的に被喫煙者が多いことが分かる。この中で喫煙者の喫煙場所、携帯灰皿の使用、歩行喫煙の有無、歩行喫煙は迷惑か否かについて調べた結果を図 - 12 に示した。この図によると、指定場所で喫煙している学生も多いが、歩行喫煙を行っている学生も多いことがわかる。これに対し、この歩行喫煙を迷惑と思っている学生が多いこともわかる。

この喫煙者の割合を学部別にまとめたものを図 - 13 に示した。この結果、理系学生より文系学生に喫煙者が多いことが分かる。

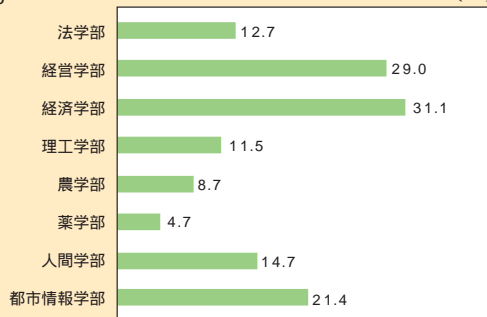
■ 図 11



■ 図 12



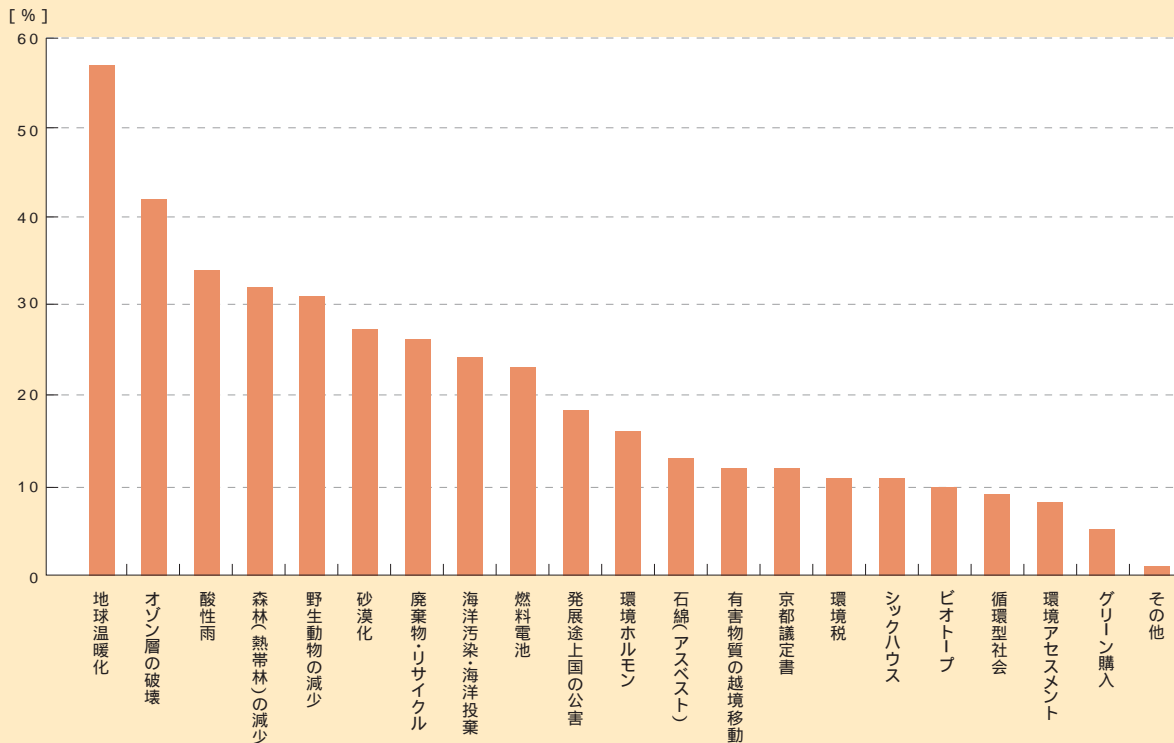
■ 図 13 (%)



6 環境(キーワード)での関心の程度

環境に関するキ-ワ-ドで3つ選んでもらった結果を図-14に示した。この図から今話題になっている地球温暖化、オゾン層の破壊が上位にランクされ関心の高さが分かる。特に、地球温暖化は過半数の学生が関心を持っていた。

■ 図 14



7 まとめ

- 1) 全学部を対象とした平成18年度の調査によると大学のISO認証取得によって学生の環境意識は高まっている。
- 2) 学生の環境意識は高まりつつあるが、環境方針カードを携帯する学生の割合が低く、大学HPの閲覧学生が少ないなど、環境方針カードの携帯促進する方策、環境のPR活動等の検討を行う必要がある。
- 3) 2002年にISO14001認証取得後、アンケート調査から徐々に学生の環境行動に一定の効果が現れている。
- 4) 「ゴミ分別ボックスの活用」、「ゴミを教室等に放置しない」は、全学的に環境意識・行動に現れているが、「教室の照明の消灯」、「電気機器等の電源OFF」、「節水」、「ゴミの減量」、「紙回収ボックスの活用」の項目が全体的に低いので、昨年発足したISO学生参画委員会の中で環境意識を高める方策などを検討する必要がある。また、今回の調査により歩行喫煙者の割合が多いため、その行為を迷惑と思っている学生の割合が多いので、その対策についても合わせて検討する必要がある。
- 5) クリーンアップ大作戦は過半数の学生が知っている。しかし、参加する学生の割合は低く、学生への参加呼びかけを工夫する必要がある。そのためクラブ・サークル等学生団体への呼びかけを含め、活動の中心となっているボランティア協議会にその方策等について働きかけを進めていく。なお、八事キャンパスとの関係もさらに進めていく必要がある。



Environment Guide of
Meijo University

2007 名城大学環境ガイド

発行 / 名城大学 経営本部 施設部
住所 / 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL / 大代表 052-832-1151(内線2169、2091)
ダイヤルイン 052-838-2011
FAX / 052-833-5523
URL / <http://www.meijo-u.ac.jp/>
E-Mail / ookankyo@ccmails.meijo-u.ac.jp



この大学案内誌は古紙配合率100%
再生紙と環境にやさしい植物性大豆
インキを使用しております。

2007.4.1

